

埼玉育ちのグローバル人

世界は面白い！地球を歩こう！！



第2回「JICA 海外協力隊～小学校の先生として過ごしたニカラグア～」

矢田部 建佑さん



¡Hola !

今回は、ニカラグアへ JICA 海外協力隊として 2 年間派遣された時のお話。

日本からアメリカもしくはメキシコ経由で約 16 時間、中米のど真ん中に位置する国です。産業は日本でも見かける物だとコーヒーやゴマ、国技は野球でその他ボクシングの世界チャンピオンもいます。中米の中ではとても貧しく、子どもから年配の方まで街中で働いている人達が多いですが、人々はみな温かく、お互い助け合っているのが印象的でした。

そんなニカラグアで私は小学校の先生としてカラソ県ヒノテペ市にあるアネクサ小学校と、リバース県エル・メンコ村にあるアドゥルフオ小学校にて先生方や 1～6 年生相手に算数や体育、幼稚園のクラスでは情操教育の一環でパネルシアターの指導をしていました。



エル・メンコ村の教え子たちと



教育委員会の先生方への研修会

算数に対して苦手意識を持つ先生方が多く、板書のみで文字を写させるだけの授業をされている状況に対して、教具の作成や、教室を出て校庭の面積を図るなど、物や体験を通じて算数の魅力を先生方や子ども達に指導してきました。最初は授業を見られたくない先生方もだんだんと算数が好きになり、「授業研修したい」「今度私の授業を見て」など、自ら言って下さるようになりました。

また、体育では指導できる先生は限られており、町の大きな学校にしか配属されない状況です。私のいた学校では、かなり指導力のある先生が「ニカラグア中に“体育”のできる先生たちを育成していきたい」という想いがあり、研修会への同行や運動会の企画・実施などをしてきました。

その他、日本文化祭りの開催や、ソーラン節の指導、教育委員会の先生方に対しての研修会など、本当に充実した日々を過ごしました。



同僚の先生たちと

2 年間、ずっとうまく活動できていたわけではありません。時には校長とケンカしたり、授業の補助で入ったつもりが、担任の先生は教室を抜け、コーヒー飲んで休憩していたりと、思うようにいかないことも最初は多かったですが、だんだんと先生方とも打ち解け、阿吽の呼吸が揃う形で協力的になっていきました。気付けば残り数か月、私がいなくなった後も自分たちでやっていけるよう引継ぎに力を入れ活動を終わりました。



ヒノテペ市の教え子たちと

そんな充実したあつという間の 2 年間でしたが、私が帰国した 2 週間後国が荒れました。政府の財政改革案に対して反対した国民を弾圧し、半年で 600 名以上死者を出しました。そのニュースを聞いてとてもショックでした。同僚の先生や教え子の中には別の国へ逃げた人達も多くいました。私がいた日々はとても平和でしたが、国によってはいつ何が起こるか分からない、平和を維持することの難しさについて考えさせられました。

第 3 回は中南米ローカル旅～その後について紹介していきます。お楽しみに！！